

サトウキビ機械収穫直後の枯れ葉堆積圃場の中耕を可能にするけん引式中耕機

本機の活用によりケーンハーベスタ収穫直後の中耕作業が可能となり、作業時間はロータリ耕と比較し1/4程度

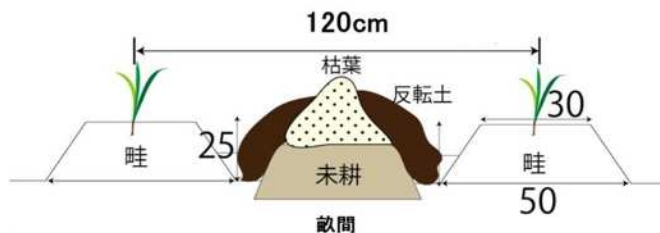
背景・目的

- ・ケーンハーベスタ収穫直後のほ場は、枯れ葉が堆積し中耕作業が遅延
- ・ロータリ中耕作業は、枯れ葉が耕うん部に巻き付くトラブルが多発
- ・小型トラクタ(14kW級)に装着でき、収穫直後の圃場に対応可能で高速作業ができるけん引式中耕機の実用化が必要

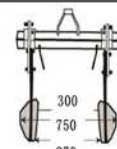
成果の内容



- ・収穫直後の中耕管理が可能
- ・作業速度が速い
- ・枯れ葉を有機物として活用
- ・120cm畝幅適応可(130cm以上最適)
- ・構造が簡単(メンテナンスが容易)

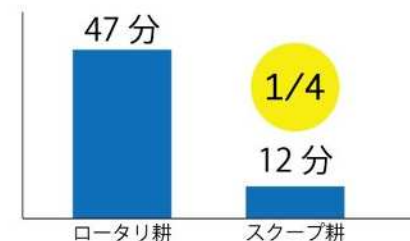


名称	けん引式土壌表面開裂・浅耕反転中耕機
呼称	スクープ
全長×全幅×全高	mm 780×780×1220
質量	kg 110
適応トラクタ	標準14kW(19PS)
装着方式	3点リンク
爪数	本 2



導入メリット

10a 作業時間 (分)



けん引式中耕 (スクープ) 処理後の状況
※枯れ葉埋没→腐植促進→後の管理作業が容易

期待される効果

サトウキビ収穫直後の適期管理と中耕作業の省力化

普及対象・範囲
サトウキビ生産者・熊毛・奄美地域